



vol.11

## 大島のとうどおくり

Hello!  
NEW  
新居浜  
新居浜の  
玉手箱



昭和50年(1975)正月のとうどおくりのひとつ。  
囲炉裏の火を囲む大島の子どもたちです。

市史編さん室では、新居浜市に関係する古い資料を調べています。  
あなたのご自宅にも古写真や古文書などが眠っていませんか？ 皆さんからの情報をお待ちしています。

お正月、市内各所で行われる火祭り「とうどおくり」。新居浜では古くから大島で行われてきた伝統行事です。

古来、大島のとうどおくりでは、子どもたちが重要な役割を担いました。暦が15日に変わるころ、少年らは仮小屋に集まり、囲炉裏のたきびにあたりながら過ごします。午前2時ころになると行動を開始、浜に担ぎ出されたとうどに火がつけられます。燃え盛るとうどは、大人の手で恵方に引き倒され、人々はその残り火を見つめながら1年の無病息災を願ったのです。

今では活躍する子どもの姿は見られなくなりましたが、これからも大切に残していきたい故郷の風物詩です。

市史編さん室 (☎ 65・1567)

広告欄